


東京家政大学

女性未来研究所

The Institute for the Advancement of Women





女性未来研究所は、平成26年4月、東京
家政大学板橋キャンパスに設立されました。
その目的は、建学の精神である「自主自律」
の道を歩み、生活信条である「愛情・勤勉・
聡明」を实践できる女性を育成すること。
また、種々の調査・研究を行いその成果を
広く学園内外に公表するとともに、我が国
の男女共同参画社会基本法などの実践を
推進し、グローバル時代に相応しい女性の
社会貢献を探究することです。

女性未来研究所 所長

樋口 恵子

Higuchi Keiko

21Cを支える女性にとって、未来は未踏の沃野。女性自身が自分の未来をデザインするという意味でも、男性と共にこの社会の未来の構築に参画するという意味でも。

女性が学びを通して自主自律、愛情に満ちた人間として世の中に参画する。学祖・渡辺辰五郎先生の建学の精神を生かして130年余。その間時代はめまぐるしく動きつつ、本学の生活の場から人間と社会支える心と技をますます必要としています。

2014年4月、本学に女性未来研究所が新設され、名誉教授である私が初代所長に任じられました。人生100年時代の到来を唱導してきた私としては、若い世代の研究者と共に、今 伝えるべきものを発掘研究し、その意味をひろめる仕事をありがたく受け止めています。時代の壁に固く覆われていた女性の未来が今新たなかたちを見せようとしています。そして女性が参画する世界の未来もより豊かになるよう研究をすすめます。

東京家政大学 名誉教授・女性未来研究所 所長 / NPO法人 高齢社会をよくする女性の会 理事長 / 厚労省社会保障審議会委員など歴任



女性未来研究所 副所長

伊藤 節

Itoh Setsu

東京家政大学英語コミュニケーション学科教授、専門は英語圏文学。日本ヴァージニア・ウルフ協会会長も務めている。主な著書に『イギリス女性作家の半世紀——80年代 女が語る』（編著、勁草書房）、『現代カナダ作家ガイド マーガレット・アトウッド』（編著、彩流社）などがある。

研究所発足と同時期に女性の社会進出を後押しする“成長戦略”がうたわれた。女性の自立を支援してきた本学には追風のようなだが、そこには多くの問題も見られる。女性の未来の可能性を多角的に考察することに微力を尽くしたい。

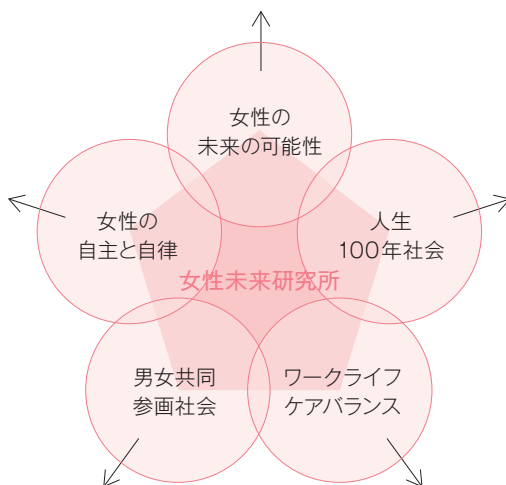


東京家政大学
女性未来研究所
The Institute for the Advancement of Women

"女性未来研究所が目指すもの"「女性の未来の可能性」「人生100年社会」「ワークライフケアバランス」「男女共同参画社会」「女性の自主と自律」の5分野を、花卉として表しました。花卉が重なり合うことでより強固な信念・社会とのつながりをイメージしました。花卉の下の葉は「Women」のWでもあり「包み込む」「支える」手の形を簡略化して表してもいます。

女性未来研究所が目指すもの

「女性の未来の可能性」、「人生100年社会」、「ワークライフケアバランス」、「男女共同参画社会」、「女性の自主と自律」の、特に5つの分野での研究を深め、未来の女性を、ひいては人間と環境の未来をより豊かにすることを目指します。



研究成果を、地域・社会の発展のために広めていきます。

1. 女性の未来の可能性

女性の過去、現在を分析し、問題点を解決する方法を探り、女性の未来の可能性をさらに拡大して構築する。女性の未来が男性と共に人間社会、地球社会の幸福を増進する研究をすすめ、社会に貢献することをめざす。

2. 人生100年社会

20世紀半ば以降、大戦争のない時代に入り、先進国の平均寿命の伸びは、それ以前の5,000年分に匹敵する（ハーバード大学、P. パーマン教授）。政府は公的文書（ex. 11年ぶりに改訂された2012年版の高齢社会政策大綱）で「人生90年時代」を用い始めた。寿命の長い女性からみれば「人生100年時代」がふさわしい。

3. ワークライフケアバランス

人生100年社会は広い意味でのケアの重要性が増す。ケアとは他者の自立を助けサポートすること。ケアはワークとライフをつなぐ。

4. 男女共同参画社会

日本は政策決定及び社会活動における女性の参画度が世界的に低位であることは複数の国際機関からくり返し指摘されている。

5. 女性の自主と自律

自主自律をモットーとし、人間の一生をケアし、自立を支え、生活を豊かにする専門性を育ててきた本学として、一生を通して女性が社会に貢献し、経済的に自立することを支援する。再就職、再スタート支援、職場開発につながる研究は、女子大学である本学の建学の精神に鑑み、ひろく社会に提言すべき役割がある。

女性未来研究所

【所長】 樋口恵子

【副所長】 伊藤節

【兼任研究員】

平野順子 (保育科)
 宇和川小百合 (栄養学科)
 青木幸子 (栄養科)
 早瀬郁恵 (造形表現学科)
 並木有希 (英語コミュニケーション学科)
 松岡洋子 (教育福祉学科)
 宮地孝宜 (教育福祉学科)

【事務室主任】 仲谷ちはる

斎藤正子 (看護学科)
 小櫃智子 (子ども支援学科)
 内野美恵 (ヒューマンライフ支援センター)
 祟田友江 (附属女子中学高等学校)
 鮫島奈津子 (附属女子中学高等学校)
 太田八重美 (博物館)
 吉村扶見子 (人事課)
 務基久美子 (キャリア支援課)

所在地・交通案内

